

雲仙プロジェクト通信 第4号

第2回雲仙プロジェクト「小浜町雲仙の巻」

平成23年11月3日

峯 耕介

【第一日目（平成23年7月16日）】

■ 小浜町・雲仙温泉へ

当日は、梅雨明けに近い時期であったが、絶好の好天に恵まれ、前月同様、博多駅筑紫口のレンタカー会社に10:00集合。メンバーは、針貝会長を初め、波木さん、木寺さん（+奥様）、西尾さん、波多野さん、森脇さん、そして私（峯）等々で出発する。

大変お世話になっているベース基地、千々石町の「竹添ハウス」に、13:00に集合して、松本さんご夫妻による今回の行程の説明と自己紹介の後、13:30に出発した。

千々石町から雲仙へは県道128号線（千々石→雲仙線）を登り、途中、千々石町の「清水の棚田」を車窓から眺めながら、14:00過ぎに雲仙の「田浦物産」に到着。

昨年、夢アイデアで佳作を受賞された、**田浦元氏**を講師にお迎えして、「雲仙地獄めぐり」の案内と説明、そして雲仙の歴史・文化が香る老舗の、「**有明**（ゆうめい）**ホテル**」（明治37年創業）、「**九州ホテル**」（大正6年創業）、「**宮崎旅館**」（昭和4年創業）を案内して頂き、それぞれ経営者の方々にご説明を頂いた。

今回、訪問できなかったが、一番の老舗は、「**湯元ホテル**」で、元禄8年創業で300有余年である。

ご案内頂いた田浦氏や、老舗ホテル旅館社長様のお話を総合すると、雲仙は、わが国最初の国立公園として、かつて外国人の夏のリゾート地として国内外に広く知られていました。当時の外国人の長期滞在型の旅のスタイルに合わせて、雲仙には洋式のホテルや旅館が次々と開業し、日本初のパブリックコースであるゴルフ場も誕生しました。

元は“温泉”と表記して“うんぜん”と読ませていましたが、1934年（昭和9）に日本初の国立公園に指定された際、ほかの温泉地と混同しないように、現在の表記「雲仙」に改められました。

また、雲仙には多くの有名人が訪れました。アジア人初のノーベル文学賞を受賞した**タゴール**や、同じくノーベル文学賞を受賞したアメリカ人作家**パール・バック**、そして**ヘレン・ケラー**。訪れたのは外国人ばかりではありません。**吉井勇**、**北原白秋**など日本の歌人もやってきました。

1. 日本の棚田百選「清水の棚田」(千々石町)



「清水の棚田」の眺望

「千々石の棚田」は急斜面の土地を利用するために、手作業で積まれた石積みにより形成されています。平成11年、「日本の棚田百選」に岳地区の『清水棚田』が認定されました。雲仙へと続く道の途中にある棚田展望所からは四季折々の美しい棚田を一望する事ができます。

2. 雲仙地獄

雲仙地獄は、長崎県雲仙市の雲仙温泉街にある場所で、雲仙温泉街の正面に広がっています。あたりは強い硫黄臭に包まれており、炭酸ガス、硫化水素ガスを含む湯煙があちらこちらから漂います。

ここでは、清七地獄やお糸地獄、島原の乱やキリシタン弾圧などについて思いつくことを書いてみました。冬の雲仙地獄では激しい硫黄のにおいと湧き上がる熱湯、灰色がかった地形など、地獄と呼ばれるにふさわしい雰囲気を感じさせてくれました。

ここはキリシタン弾圧の際、しばしば信者を苦しめるために利用されたと言われていました。その名残が清七地獄や大叫喚地獄などの名前に残されています。また地獄の名の通り、そこだけ一面グレーの世界に包まれて、いたるところから噴気をあげる様はまさにこの世の地獄と呼ぶにふさわしい風景に見えます。

このあたりには過去何度も噴火を繰り返してきた雲仙普賢岳をはじめ、最近噴火した平成新山など活火山があり、今も地下にはマグマ溜まりがあり、そこから岩の裂け目伝いに上がってくる高温高圧のガスが地下水に触れて蒸気化し、それが硫黄成分を伴って噴出していると考えられます。

また、ここには約30あまりの地獄があるそうです。

大叫喚地獄



清七地獄



お糸地獄



3. 雲仙地獄・真智子岩

約 30 種類の地獄が点在し、それぞれに由来や伝説があります。観光客に特に人気の「真知子岩」も、そのひとつです。

昭和 27 年、菊田一夫原作の連続ラジオドラマ『君の名は』が大ヒットを収め、映画化されるが、その映画ロケ（岸恵子・佐田啓二主演・昭和 29 年）で一躍有名になったのが真知子岩です。昭和 50 年にはヒロイン真知子役の岸恵子が手を付いた岩（真知子岩）の脇に国立公園 50 年を記念した碑も建てられ、「忘却とは忘れ去ることなり、忘れ得ずして忘却を誓う悲しさよ」という有名な言葉が刻まれている。



- ・ 左；真知子岩」では、「忘却とは忘れ去ることなり、忘れ得ずして忘却を誓う悲しさよ」という有名な言葉が刻まれています。
- ・ 中；松竹映画「君の名は」の主役、後宮春樹役の佐田啓二と氏家真知子役の岸恵子。
- ・ 右；岸恵子演ずるヒロイン氏家真知子がショールを首から頭に巻いており、このスタイルが「真知子巻き」と呼ばれ大流行しました。

:

4. 老舗ホテル旅館

(1) 有明ホテル

下記の写真は、有明（ゆうめい）ホテルの栗原社長による、雲仙の歴史と自ホテルについての説明に聞き入るメンバーの皆さん。



◆有明ホテル所蔵展示物（一部）

フランス製16ミリ映写機



タイプライター



米国製二眼レフ



◆現在の有明ホテル

外観



ロビー



(2) 九州ホテル

九州ホテルは 1917 年(大正 6 年)、シャンハイ航路の船に乗り込んで料理の修行を積んだ初代七條達馬が、自ら洋食コック長を兼ねて開業したことにはじまります。

当時は、洋式ホテルで上海、香港から訪れるイギリス人、ロシア人がほとんどで、それも夏場だけの営業でした。その様子を語るエピソードの 1 つに九州ホテルに働きに来たメイドさんは、英語の A の字も知らないでやってきて、シーズンが終わるころには片言ながら英会話ができるようになり、そして冬から春にかけて他の仕事をし、夏再び雲仙に働きに戻るころには英語を忘れていた・・・(笑) というものがあります。

その後第 2 次大戦で状況は一変、戦中は日本海軍の保養施設(1943-45)として接收され、当時のオーナー 2 代目七條達夫はお国のためという使命感と手塩にかけたホテルが接收によって変わっていく寂しさで複雑な思いであったと聞きます。

下記、左は九州ホテルの七条社長による、自ホテル説明を受けるメンバー。右は、創業当時の九州ホテル



現在の九州ホテル



同ホテルの百年ダイニング



◆九州ホテル 百年ダイニング;創業 93 年、外国人用ホテルとしてはじまった当ホテルの開業時のダイニングルームを基に再現した、クラシカルな雰囲気と雲仙地獄の湯けむりが立ち昇る迫力ある景色が特徴のダイニングルームです。

(3) 宮崎旅館

「創業(昭和4年)当時」



「日本で最初の自動ドアを採用(昭和26年)」



◆現在の宮崎旅館

外 観



ロ ビー



※特別清算決定

雲仙宮崎旅館の元経営(株)ユー・エム・ティー(長崎県雲仙市小浜町雲仙320、代表清算人:宮崎高幸)と関連の(株)エム・アール(同、代表清算人:宮崎高一)は2011年4月18日、特別清算開始決定を受けていた。申請代理人は萬年浩雄弁護士(電話092-751-5006)ほか。負債額は(株)ユー・エム・ティーが約25億円、(株)エム・アールが約7億円の計約32億円。(株)ユー・エム・ティーは、昭和4年8月創業、昭和38年9月に法人化されたホテル会社。雲仙を代表する観光ホテル「宮崎旅館」の運営を行っていた。

しかし、近年は観光客の減少により債務超過状態が続き、金融機関の主導により宮崎旅館を昨年3月(株)雲仙宮崎旅館に移管、昨年8月株主総会により解散を決議していた。

関連の(株)エム・アールは平成15年2月、旅館「半水慮」(雲仙から少し下った所)を買収する目的で、宮崎一族が設立した会社。高級旅館として知られていたが、客は不景気でガラガラ状態、儲けることもなく何もできず赤字垂れ流しで、昨年7月不動産を含む営業権を福岡県久留米市のユーコーリゾート(株)(ユーコーラッキーの関連会社)に売却、(株)ユー・エム・ティー同様、同社は昨年8月解散を決議していた。

宮崎氏は地名士として知られるが、ただのボンボン。(東京商工リサーチより)

【第二日目（平成23年7月17日）】

1. 旧小浜鉄道跡

旧小浜鉄道のレール跡地は、地域住民にとっての主要道路となっている。道幅は狭く、乗用車1台が通れる道路で、離合するのも大変である。

緑のトンネル



木津の浜駅跡



2. 富津弁天公園

県立公園、橋湾につき出した岬で、この一帯は巨岩と青松の調和のとれた美しい公園。ここからは小浜温泉街をはじめ雲仙岳などが眺望され、小浜きってのつり場として知られる。また公園内には富津弁天が祀られている。

国道57号線から見た富津漁港と、弁天公園の先端を見学する



3. 富津の六角井戸

弘法大師が六角の杖で大地を一角突くとそこから水が湧き出し、水不足を救ったといわれる伝説の井戸。かつて人々は飲料水として利用していました。



4. 金浜眼鏡橋（かなはまめがねばし）



金浜めがね橋は 1846 年（弘化 3 年）に土地の有力者であった岡右衛門が架けた石橋であったが、今の橋は平成 5 年に大改修された橋で全面的に新しくなっている。

形式：石橋

- ・橋長：14.5 m
- ・高さ：3.6 m
- ・完成：1846 年

長崎市内や諫早市内の眼鏡橋は 2 つのアーチになっていますが、この橋は 1 つだけでも眼鏡橋と言われていまづが・・・どうしてでしょう。意味不明？

5. パインテール・ファーム

◆ファームの全景

緑に囲まれた牧場全景(空気がおいしい)



[手造りログハウス]



「清潔に健康に育ててこそおいしいミルクがしぼれます」と、松尾さんから説明を受ける。



新婚さんのような松尾さんご夫婦と、ここで作られた、北海道産にも負けない美味しいチーズ



◆動物ふれあい体験

特に、ロバの親子は結構人見知りするので、慣れるまでが大変なようですが？
ロバとの散歩やふれあいを通して子供たちには生き物の温かさを感じてほしいとのこと。

ロバの親子(小さいほうが母親)で、乗馬体験もあります。



- 体験内容／チーズづくり体験・生クリームづくり体験
- 要予約／1週間前の予約が必要です。(TEL 0957-74-5647)
- 体験時間／2時間～3時間程度
- 体験料金／大人1人2,500円・子供1人1,300円
- 持参するもの／エプロン
- 受入れ人数／一人から参加できます。多い場合はエコパーク論所原(ろんしょばる)にて出張体験を行います。
- お問合せ 長崎県雲仙市小浜町木場 1970 パインテール・ファーム
TEL 0957-74-5647 / [E-mail ptfarm@ybb.ne.jp](mailto:ptfarm@ybb.ne.jp)

6. 雲仙市立木指小学校小田山分校

2007年に廃校となった同小学校を見学する。現在は地区の公民館として利用されているようだが、このままではモットイナイの一言であり、今後どのような活用方法があるのかなどの提案が必要だと思う。

当分校は遠景写真しかありません。(写真の中央より右の少し高い場所にある白い建物です)



7. 惜梅亭(せきばいてい)

雲仙市小浜町に27年前、建てられた「惜梅亭(せきばいてい)」が4月1日(日)より一般公開されることとなりました。この「惜梅亭(せきばいてい)」は建築的価値が高いとされる由緒ある茶室ですが、最近の利用者もほとんどなく、市町村合併による補助金削減の影響で取り壊される寸前でした。しかし、その惜梅亭の取り壊しを知った小浜町の商工関係者達が「惜梅亭を保存活用する会」を結成して新たな活用策を探る運動をスタートさせ、瓦や傷んでいた畳を新品に替えたり、建具の一部などを補修しました。



◆終わりに・・・

好天にも恵まれましたが、雲仙の温泉街は標高700mということで、避暑には良いかも？との期待は完全に当てが外れ、避暑どころか足元からは地獄の熱気、空からは真夏の太陽が降り注ぎ、上と下からの暑さで倒れはしないかと心配するほどでした。それでも、雲仙プロジェクトの皆さんは、ガイドの田浦氏を初め、各ホテルの社長さんの話に熱心に耳を傾けておられました。本当にお疲れ様でした。